

今後の卸売市場の整備に関する作業部会（第2回）概要

1. 日時：

令和4年12月16日（金）13：00～14：15

2. 場所：

オンライン会議

3. 出席者：

<中央卸売市場開設者>

山下 知秀	札幌市中央卸売市場	管理課長
山田 浩幸	仙台市中央卸売市場	管理課長
松本 隆博	東京都中央卸売市場	市場政策課長
花田 斎明	横浜市中中央卸売市場	市場再編整備担当課長
齊藤 憲悟	川崎市中央卸売市場	業務課長
谷内 勇人	金沢市中央卸売市場	中央卸売市場事務局長補佐

【代理出席】

松田 健志	名古屋市中中央卸売市場	業務課主査
-------	-------------	-------

【代理出席】

中村 周平	京都市中央卸売市場	業務課長
上田 知弘	大阪府中央卸売市場	指導・業務担当課長
柴崎 智行	大阪市中中央卸売市場	企画担当課長代理

【代理出席】

徳村 守	広島市中中央卸売市場	業務担当課長
高橋 純夫	岡山市中央卸売市場	業務担当課長
生野 剛	福岡市中中央卸売市場	青果市場長

<地方卸売市場開設者>

飯田 宜秀	水戸市公設地方卸売市場	次長
佐藤 克麿	旭一旭川地方卸売市場	経営企画室長
柴田 彰	高崎市総合地方卸売市場	管理部長

<卸売団体>

庄内 弘志	(一社) 全国中央市場青果卸売協会	
	東京青果株式会社	商品センター部長

<仲卸団体>

岡本 光生	全国青果卸売協同組合連合会関東地区協議会	理事
-------	----------------------	----

<オブザーバー>

出田 安利 (一社) 全国中央市場青果卸売協会 専務理事
中村 岩生 (一社) 全国中央市場青果卸売協会
東京青果株式会社 経営戦略室課長
丸山 隆 (一社) 全国青果卸売市場協会
熊本大同青果株式会社 参事

<行政>

丹菊 直子 農林水産省 大臣官房新事業・食品産業部
食品流通課 卸売市場室長
内藤 光幸 農林水産省 大臣官房新事業・食品産業部
食品流通課 卸売市場室 課長補佐

4. 議事概要：

〔新事業・食品産業部食品流通課卸売市場室から「今後の卸売市場整備の方向性骨子（案）（資料2）」について説明後、意見交換〕

【各構成員からの主な意見】

- 卸売市場の整備の方向性を整理し、推奨事項をまとめていただいたので、卸売市場の効率化に向けて具体的に何をすべきかがわかりやすく可視化された。
- 骨子案を見ると改めて対応すべき課題が多いと感じる。場内関係者ともよく相談の上、進めていきたい。
- 今後、再整備の基本構想を作成するにあたってわかりやすい資料だと思う。現在だけでなく将来的にどういう市場にすべきかを関係者でよく話し合いたい。労働力が減少する中、物流の効率化は必須の課題。
- 再整備に向け将来的な取扱数量減少も見据えて検討中。
- 開放型の市場から閉鎖型に整備したことにより品質・衛生管理は高度化できたが、結果として施設使用料や光熱水費等の固定費の増加につながるといった課題がある。
- 完全閉鎖型の市場はコールドチェーンの点では理想的だが、荷物の入出庫に支障をきたすのではないかと懸念がある。
- 完全閉鎖型であれば野菜に適した温度帯での管理が可能。
- バリアフリー化することによって、女性でも荷物の移動が容易に行える。
- 施設整備に当たっては物流動線をよく考える必要。使ってみると死角が多くあるような動線にはいけない。場内の一方通行化や駐車違反禁止といったルール徹底も必要。

- 整備の方向性を示した農水省の思いは理解するが、予算が限られるとできるものもできなくなる。予算措置をお願いしたい。
- 整備の方向性の骨子を交付等要綱に反映させるとのことだが、成果目標の設定も使いやすいものにしていただきたい。
- 整備の方向性骨子は、機能面でのアドバイスであり大変ありがたい。一方で、建築コストが上昇する中、使用料とのバランスが難しくなっている。
- 市場関係者で非常用電源がどの程度必要かの議論を行っている。電源用の燃料の保管も必要になることに加え、使用しなかった場合には燃料の処分費もかかるので負担が大きい。
- 非常用電源については、事務所部分等必要最小限。燃料の保管まではしていない。
- パレチゼーション化は、川上から川下までのサプライチェーン全体で取り組む必要。市場では市場内のパレット管理のルールが必要。
- パレットを共通の財産としていく必要。そのためにはサイズの統一が絶対に必要。韓国では統一されたパレットが流通している。

(以上)